

# 地域課題の解決に向けた取組

## 低コスト作業システムの構築に向けた取組

後志森林管理署

### 1 はじめに

当署の管轄区域は、北海道の中央から南西部に位置し、後志・胆振総合振興局管内の一部、3市12町5村に及びます。

管内の森林は、地域の水源や木材生産のほか、沿岸漁業が盛んな日本海及び内浦湾の漁場の保全等に資する観点からも重要な役割を担っています。

また、林野庁の「日本美しい森 お薦め国有林」に4箇所が選定されるなど、優れた自然景観や観光資源も多い地域です。

### 2 低コスト作業システムの構築

管内の林業事業体ではハーベスタなどの高性能林業機械の導入が進んでいます。が、機械の待機時間が長いなど効率的に活用されていない事例が多く見られました。このことから当署は、「高性能林業機械の効率的な利用による低コスト作業システムの構築」を地域課題の一つと定め、地元総合振興局と連携し低コスト化の推進に取り組んでいます。

具体的には、林業事業体自らが効率的な作業システムを検討できるよう、簡易に作業工程・生産コストを算出し機械毎の工程が把握できる「工程管理システム」を作成しており、その幅広い利用を促すため、局ホームページ上に公開しています。



高性能林業機械による間伐作業

このシステムの普及を図るため、林業事業体や森林組合、市町村など民有林関係者を対象とした説明会を開催し、ここでは、システムの使用状況・有効性及び改善点などのアンケート調査も併せて行いました。

この調査の分析結果を基に、さらなるシステムの普及・改良に取り組んでいきたいと考えています。



工程管理システム使用説明会

### 3 現場見学研修会の開催

管内の市町村で林務を担当されている方の多くは、経験年数が浅く、また他の業務と兼務しているなどの理由から森林・林業にあまり精通されていない現状があります。

このことから、平成28年度より地元総合振興局と連携し、当署職員も含めた担当者、森林・林業に係る知識やスキル向上を目的とした現場見学研修会を開催してきました。

これまでの開催事例としては、ハーベスタなどの高性能林業機械を活用した効率的な作業システムを理解していただくための間伐現場の見学会や、ドローンの業

務への活用を目指した操作実習研修会などがあります。また、平成30年度からは森林組合の職員の方にも研修会に参加していただき、おり、参加者から寄せられた意見・要望を基に実施内容をさらに充実させ継続していくこととしています。



ドローン操作実習

### 4 今後の展開方向

このほか、協定に基づく森林共同施業団地での民有林と連携した森林整備、モデル地区に定めた自治体の町有林整備支援などを行っています。

今後、民有林関係者との意見交換を重ねることにより地域の悩みや課題を的確に把握し、その解決に取り組んでいきたいと考えています。



北海道森林管理局ホームページでも工程管理システムの取組をご覧いただけます。